



平成 27 年 2 月 6 日

各 位

会 社 名 大東紡織株式会社

代表者名 取締役社長 国広 伸夫

(コード：3202、東証・名証各第1部)

問 合 せ 先 経営管理本部経営企画部長 三枝 章吾

(TEL 03-3665-7843)

## 通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 26 年 5 月 13 日に公表した平成 27 年 3 月期通期の業績予想を下記の通り修正いたしました。

### 記

#### 1. 業績予想の修正について

平成 27 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	7,100	460	150	120	4.01
今回修正予想 (B)	6,180	180	△110	△140	△4.68
増減額 (B-A)	△920	△280	△260	△260	
増減率 (%)	△13.0	△60.9	—	—	
(参考) 前期実績 (平成 26 年 3 月期)	7,548	377	77	27	0.93

平成 27 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	5,680	430	130	110	3.67
今回修正予想 (B)	5,030	320	△160	△175	△5.85
増減額 (B-A)	△650	△110	△290	△285	
増減率 (%)	△11.4	△25.6	—	—	
(参考) 前期実績 (平成 26 年 3 月期)	4,450	384	43	13	0.46

## 2. 修正の理由

### (連結)

平成 27 年 3 月期の通期の売上高につきましては、衣料部門において消費増税後の消費者マインド低下の影響が少なくとも平成 27 年 1 月～3 月頃まで長引くと予想されることに加え、紳士服販売子会社においては今年度から就職活動開始時期がずれ込むことなどから今後の春夏物スーツへの入替が計画を大幅に下回る見通しとなっていること、提案型 OEM 事業において円安による価格競争激化の影響から春夏物販売が計画通り進まない見通しであること、また、成長を見込んでいたヘルスケア事業においては当初想定よりも消費増税の影響が大きく、第 4 四半期会計期間(平成 27 年 1 月～3 月)における計画との乖離が一段と拡大する結果、前回発表予想を下回る見込みであるため下方修正いたします。

損益面につきましては、販売管理費は計画以上に削減するものの、売上高が予想を下回ることによる影響に加え、急激な円安に伴う粗利率の低下により粗利額が計画を下回る見通しであることから、営業黒字は確保するものの、営業利益・経常利益・当期純利益の各段階で前回発表予想を下回る見込みであるため下方修正いたします。

なお、今後については、政府の各種政策の進展により消費者マインドの改善や円安によるコスト上昇分の価格転嫁が進むことが期待できること、さらに「中期経営計画 Beyond 120th～120 周年を超えて未来へ～」に基づき、繊維・アパレル事業についてより一層の採算性の改善に取り組むことにより、業績の改善を見込んでおります。

### (個別)

平成 27 年 3 月期の通期の売上高につきましては、衣料部門において消費増税後の消費者マインド低下の影響が少なくとも平成 27 年 1 月～3 月頃まで長引くと予想されることに加え、提案型 OEM 事業において円安による価格競争激化の影響から春夏物販売が計画通り進まない見通しであること、また、成長を見込んでいたヘルスケア事業においては当初想定よりも消費増税の影響が大きく、前回発表予想を下回る見込みであるため下方修正いたします。

損益面につきましては、販売管理費は計画以上に削減するものの、売上高が予想を下回ることによる影響が大きく、営業黒字は確保するものの、営業利益が前回発表予想を下回る見込みであるため下方修正いたします。さらに、紳士服販売子会社に対する貸倒引当金の繰入もあり、経常利益、当期純利益についても前回発表予想を下回る見込みであるため下方修正いたします。

(注) 上記予想は、本資料の発表日現在で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上